

- 旧赤松家記念館へ行こう P1～2
- 文化財スタンプラリー2023 P3
- 本庁舎 1階で展示をおこないます P4
- コラム『遠くて近くて』鈴木康大 P4

徳川家ゆかりの品々展示中！ 旧赤松家記念館へ行こう

旧赤松家記念館では、現在、徳川家ゆかりの品を展示しています。ぜひ、この機会に旧赤松家記念館にお越しください。

徳川家と赤松家

慶応4年（1868）4月、新政府により田安亀之助（後の徳川家達）が徳川宗家相続人となり、8月に静岡藩に移されたことで、徳川家に仕えていた武士（幕臣）の多くも静岡県内各地に移り住み、農業や商業に携わりました。

磐田では、旧幕臣であった人々や農業従事者が磐田原台地の開墾に力を注ぎ、磐田の茶園経営の基礎をつくりました。

赤松則良もその一人で、徳川家達から工芸品や直筆の書などを拝領しました。現在、邸宅の門や塀などが県・市指定文化財となっており、敷地内の記念館で徳川家・赤松家ゆかりの品を展示しています。



県指定文化財「旧赤松家門」

徳川家達拝領品 市指定文化財「紙本金地著色源氏物語図」 市指定文化財「紙本金地著色野外遊楽図」

紙本金地著色源氏物語図は、江戸後期の屏風で、源氏物語のうち右隻に胡蝶、絵合、初音が、左隻に濤標、野分、紅葉賀の場面が描かれています。

一方、紙本金地著色野外遊楽図は、江戸中期の作の屏風で、桜の花見や歌舞伎などを色彩鮮やかに、また躍動的に描いています。

記念館では毎年、紙本金地著色源氏物語図の右隻を5～7月に、左隻を8～10月に、紙本金地著色野外遊楽図の右隻を11～1月に、左隻を2～4月に展示しています。



紙本金地著色源氏物語図 右隻

徳川家達拝領品

市指定文化財「吉野山蒔絵文庫・硯箱・色紙箱・短冊箱」



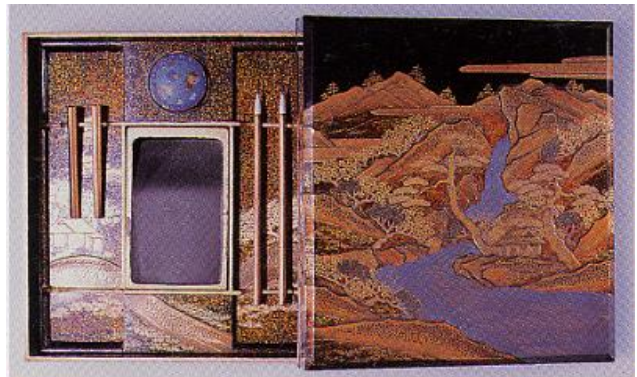
吉野山蒔絵色紙箱

硯箱には、硯石の他に筆や七宝製の水滴（硯に差す水を入れる容器）が収められています。

（※）蒔絵の技法の一つ。模様部分を、漆と砥の粉を混ぜたもので盛り、その上に金銀などの粉を蒔きつけて磨いたもの。

文庫・硯箱・色紙箱・短冊箱のそれぞれに金高蒔絵（※）で吉野山の桜山水が鮮やかに描かれています。

色紙箱には、桜山水だけでなく身の内面に桔梗やススキも描かれ、蓋に描かれた桜山水と春秋対称になっています。



吉野山蒔絵硯箱

徳川家達拝領品

市指定文化財「桐唐草紋食籠」

江戸中期に作られた、黒漆に葵桐唐草紋様が描かれた食籠（食べ物を入れる容器）です。



桐唐草紋食籠

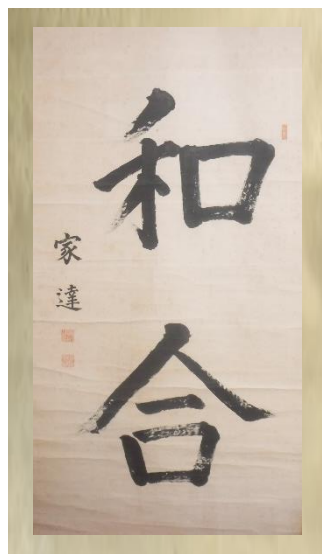
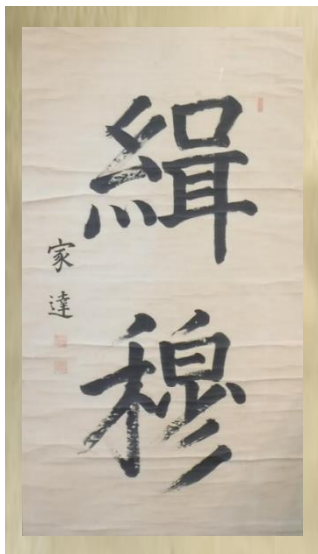
まだまだあります！

徳川家ゆかりの品

記念館では赤松則良の婚礼の際に拝領した伝わる徳川家達直筆の書「緝穆」^{しゅうぼく}「和合」^{わがっ}（※）の掛軸も展示しています。

このほか、徳川家ゆかりの工芸品として、茶道で用いる手桶形の水差しや食器等をのせる台、^{たらい}盥とそれを納める葵の紋が描かれた箱などを展示中です。ぜひ、ご覧ください。

（※）「緝穆」は、仲睦まじくする。「和合」は打ち解け睦み合うの意。



家達直筆の書「緝穆」「和合」

旧赤松家記念館

磐田市見付 3884-10

【開館時間】午前9時～午後4時30分

【休館日】月曜(祝日の場合は翌火曜)

お待ちしております！



行ってみよう！

文化財スタンプラリー2023



磐田市

7月29日(土)から、文化財スタンプラリー2023を開催します。期間中に、下記①～⑤の施設をめぐる、スタンプを3つ以上集めた方には記念品をプレゼントします！各施設とも入場無料です。ふるってご参加ください。

開催期間 7月29日(土)～8月27日(日)

対象施設

来月号の文化財だよりでみどころを特集します！

①企画展『中世の見付

～遠江の中心ミッケ！～

磐田市見付 3599-5

(中央図書館1階展示室)

【開館時間】午前9時～午後5時

【休館日】月曜・8月25日(金)

記念品配布場所

②埋蔵文化財センター

磐田市見付 3678-1

【開館時間】午後8時30分

～午後5時15分

【休館日】8月11日(金・祝)

③旧赤松家記念館

磐田市見付 3884-10

【開館時間】午前9時～午後4時30分

【休館日】月曜(祝日の場合は翌火曜)

④旧見付学校

磐田市見付 2452-1

【開館時間】午前9時～午後4時30分

【休館日】月曜(祝日の場合は翌火曜)

⑤歴史文書館

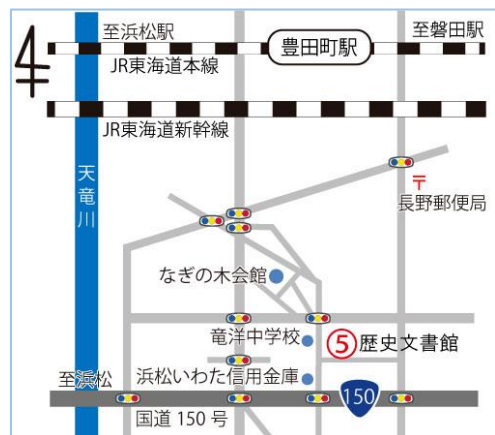
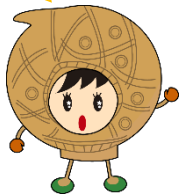
磐田市岡 729-1 (竜洋支所内)

【開館時間】午前8時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

【休館日】土曜・日曜・祝日

②は①の東側にある灰色の建物です。



記念品の缶バッジ



②の埋蔵文化財センターで、押してあるスタンプの数を確認後、記念品を配布します。左の4種類の絵柄の缶バッジの中から1種類をお選びください。各デザイン無くなり次第終了です。

※デザインは現在製作中のものです。一部変更の可能性もあります。

本庁舎1階で展示をおこないます

殿をさがしてちょっとそこまで ～磐田にのこる家康伝承～

7月3日（月）から、磐田市本庁舎1階展示ブースで、家康関連の展示をおこないます。ご覧いただいた後は、ちょっとそこまで殿を探しに行ってみませんか。

展示期間 7月3日（月）～7月28日（金）**見学無料**

展示場所 磐田市役所 本庁舎1階（磐田市国府台3-1）

開庁時間 月曜から金曜（祝日を除く）午前8時30分から午後5時15分

みどころ

家康お手植えと伝わる蘇鉄そてつや、家康が寄進した梵鐘ぼんしょう、城之崎城や一言坂など市内にのこる家康ゆかりの地を紹介します。また、家康が鷹狩りの際などに宿泊した中泉御殿跡ごてんからの出土遺物も展示します。



職員リレー コラム

遠くて近くて

鈴木 康大

松崎町（静岡県東部）までドライブに行ってきました。小さな町でしたが、なまこ壁の建物が残り、車を停めて散策すると、タイムスリップした気分です。

この町は漆喰芸術で有名な入江長八が活躍した地でもあります。町のお寺や美術館では数多くの長八作品をみることができ、磐田市にも彼の作品（市指定文化財：伊豆入江長八作 次郎長漆喰画像）が伝えられています。

また、旧見付学校（国指定史跡：磐田市）とともに、しずおか遺産「近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶」の構成文化財である旧岩科学学校いわしな（重要有形文化財）は、明治時代の和洋折衷建築として見応えがありました。

ほかにも、この町には伊豆半島で採掘される「伊豆石」の採石場のひとつである室岩洞むろいわどうがあります。磐田市内にも伊豆石を用いた石蔵が見付や掛塚に残されており、「もしかしたら松崎町からも石材を運んだのかな」と想像が膨らみます。

片道 200 kmの旅でしたが、磐田市とのつながりを見つけて、松崎町を身近に感じる一日でした。



旧岩科学学校

編 7月末から、中央図書館にて文化財課の企
集 画展がはじまります。来月号の文化財だよ
後 りにて、企画展のみどころを特集しますの
記 で、ぜひご覧ください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課（磐田市埋蔵文化財センター）
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。[磐田 文化財だより](#) [検索](#)

